

特別講演会 IEC Forum 2017

「世界秩序の変遷と日米関係の将来」



講師

行天 豊雄 氏

当振興会理事、元大蔵省財務官、元東京銀行会長、現国際通貨研究所名誉顧問、
米国ハーバード大学・プリンストン大学客員教授

日本を代表する国際通貨の専門家である行天豊雄氏を講師に招き、「日米関係の
今後」についての特別講演(日本語)を開催します。

4月23日(日)

時間: 14:00~15:30

会場: スクワール麹町

(四ツ谷駅麹町口徒歩1分)

参加費: **無料**(定員90名 先着順)

申込方法: 参加は、以下のメールアドレスに参加希望者の氏名、連絡先電話番号をお送りください。

事務局より受付メールを返信いたします。

申込は → forum@nichibei.ac.jp



講演概要

日本の国際関係の中で日米関係がもっとも重要であることは言う迄ありません。太平洋戦争で日米両国は激しく戦いました。しかし1945年に日本が降伏して以後両国の関係は一転して非常に友好的なものになりました。7年に及んだ占領の時代を通じて、日本は政治・社会・教育・文化等の面で米国から多くを学びました。米国への輸出が日本経済復興の支えになりました。安全保障の面では米国の核の傘が日本を覆ってくれました。

その代り、日本は独立後も大規模な米国の駐留を認め、国際問題では常に米国を支持してきました。この関係は現在も変わりません。したがって、他国の人々から見ると、日本は良く言えば米国の強固な同盟国であり、悪く言えば忠実な追従国であるわけです。

他方、20世紀末以来、世界各国の力関係や秩序は徐々に、しかし確実に変わっています。一つには米国の経済力、政治力、軍事力が縮びてきたこと、一つには中国を始めとする新興国の力が増したこと、一つにはさまざまなSNSの発達で政治を動かす力が変わっていることです。

米国の政権交代はこういう世界秩序の変化を象徴的に示した出来事だったと思います。これから日米関係はどう変わっていくのでしょうか。どう変えて行く必要があるのでしょうか。とても難しい問題で、容易に答えが出る話ではないでしょう。しかし、答を出すためにはどういうことを考えねばならないだろうか、私の思うところをお話ししてみたいと思います。

行天氏には5月から月1回、当会にて「通貨を軸とした世界経済の変遷と展望」などにつき、英語での定期講演(土曜日 18時~)も開催して頂く予定です。



問合せ: 一般財団法人 国際教育振興会 日米会話学院・日本語研修所
東京都新宿区四谷 1-50 Tel 03-3359-9620 Fax 03-3353-8908

INTERNATIONAL EDUCATION CENTER

www.nichibei.ac.jp

www.iec-nichibei.or.jp